

授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	ライフステージ栄養学aでは、妊娠・胎児の発育、小児期の成長の理解とそれに即した栄養上の配慮が重要です。栄養学的なポイントを整理して、実際の献立作成に役立ててください。
栄養指導実習 a	長谷川 めぐみ	栄養指導論実習は3限続きの実習ではありますが、当日資料配布などにつきましては今後の検討課題とさせていただきます
栄養指導論 a	長谷川 めぐみ	今後とも見やすい資料作成、授業展開を心がけます
栄養生理学	奈良 典子	貴重な意見有難うございました。 今後も皆さんに学んでいただけるようにつとめます
解剖生理学 a	寛 慎治	解剖生理学aは、図を一目見ればわかるものではなく、易しい科目ではありませんが、多くの学生さんに概ね理解していただけたようでまずは安心しました。講義のビデオのアップロードは、復習に役立ったと好評でしたので、後期の解剖生理学bでも同じ対応をしたいと思います。期末テストも予想を遥かに上回る結果で、全員が合格でした。ただし、言葉の説明をもっとわかりやすくして欲しいというリクエストもいただいております、今後さらに改善していくつもりです。 解剖生理学aは主に人体の構造（肉眼レベルから分子レベルまで）についてお話ししましたが、後期の解剖生理学b（選択科目）では、その構造の知識を基礎に、様々な生理学的な機能についてより深くお話ししていく予定です。
基礎栄養学	中村 彰男	前期の半年間、「基礎栄養学」の講義お疲れさまでした。基礎栄養学は基礎の専門教科として大切であるというだけでなく、私たちが生きていくためにとても重要なことを学べると思います。試験も皆さんよく勉強していて平均点はほんとうに素晴らしかったです。後期の講義もこの調子で頑張ってくださいね。
基礎化学	山崎 壮	食生活科学科の3専攻で同一内容の授業を行っていますが、授業アンケートの大問ⅡとⅢのほぼすべての項目の評価が、全体平均と比べて、管理栄養士専攻と健康栄養専攻ではほぼ同程度でしたが、食物科学専攻では0.7~1.2ポイント低かったです。定期試験の得点分布が3専攻ともに65点~80点に多かったとは言え、3専攻ともに96点超から30点未満まで幅広く分布していました。また、授業アンケートの自由記載の感想では、理解が深まったというプラス評価が多かった一方で、難しすぎて理解できなかったというマイナス評価もあり、両極端の感想がありました。この傾向は昨年度と同様です。食物科学専攻と健康栄養専攻だけでなく、3専攻の中で最も理系の色彩が強い管理栄養士専攻を含めて、この2年間の入学生に占める文系（非理系）志向の学生の比率が確実に増加していることから、典型的理系科目である「基礎化学」に興味を持っていない学生がいることは当然の結果であると考えます。「基礎化学」を履修してみて自分はこの分野にはどうしても興味を持てなかったのであれば、それを素直に受け入れてよいと思います。化学に興味を持てなかったならば、自分が興味を持てるほかの領域を見つけ出し、その領域の勉強に自分のエネルギーを投入して行ってほしいです。（山崎 壮）
給食実務校外実習	長谷川 めぐみ	通年科目「給食実務校外実習」は夏季休業中に臨地実習を実施しています。前期の座学で準備してきたことが、臨地実習で開花していることを、担当者として実感しています。
公衆栄養学 a	長谷川 めぐみ	栄養士として重要な公衆栄養に関わる業務スキルについて、十分学べるよう今後の講義展開に創意工夫を続けたいと思います
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	まず、アンケートに回答してくれた学生さんは4名のみ、つまり全体の1割でした。期末試験の成績は、とても甘く評価すれば、到達目標に達しているとなんとか判定できるという状態の人も多くみられました。このような回答率の低さや成績は、皆さんが公衆衛生学に対して興味をもっていないということも反映していると思います。大学の授業は高校までと異なり、受け身でいけば得られるものはわずかです。在学中や卒業後に関連分野を自主的に学ばないと、社会から栄養士が期待される業務を十分に行えない場合もあります。
食育と調理	白尾 美佳	今後、食育の現場で調理する際に、役に立ていただければ幸いです。
食品加工学 a	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、熱心に取り組んでいただけたものと思います。
食品学 a	白尾 美佳	食品学aでは食品成分の面からの勉強でした。少し難しいところもあったかもしれませんが、後期に向かって頑張らしましょう。

[2022 (前期) 食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
食品学実験 a	白尾 美佳	実験実習は机上の学問をわかりやすくする方法のひとつです。時間がかかることもあります。思わぬ展開があることもあります。これから少しでも実験が好きになってもらいたいと思います。
食品機能論	杉山 靖正	講義中にもお話しした通り、機能性物質は新たに発見、認識されるものが少なくありません。また、誤った情報も多く発信されているのが現状です。今後も正確で新たな知見を得られるよう、最新情報の取集を意識してくださいね！
人体の構造と疾病	笥 慎治	「人体の構造と疾病」は病態生理学とよばれる医学の分野に含まれ、本来はとても広大な領域をカバーします。この講義では、その中から栄養学的に欠かせないと思われる内容に厳選してお話しさせていただきました。各レポート課題は、難しい内容も含んでいましたが、よく調べて理解した上で上手くまとめているものが多く、感心させられました。もちろん高い評価を付けました。自信を持ってこれからの栄養学の学修に取り組んで下さい。笥 慎治
生化学 a	中村 彰男	前期の半年間、生化学aの講義お疲れさまでした。化学反応式や用語を覚えるよりもできるだけ仕組みを理解して貰えるように頑張ったつもりですが、不十分だったところは遠慮無しに個別に聞きに来て下さいね。 前期の試験のときは凄く良かったので、皆さん頑張ったんだと思います。後期の「生化学b」は少し難しくなるかも知れませんが、楽しみながら一緒に学びましょう！多くの知識だけでなくものの考え方を学べる時間にしたいと思います。
総合演習	白尾 美佳 奈良 典子 笥 慎治	貴重な意見有難うございました。 今後も皆さんに学んでいただけるようにつとめます
理化学実験	山崎 壮	「理化学実験」は実験が得意でない学生のための訓練授業です。「理化学実験」の授業のねらいは、実験の基礎的・基本的手法を実体験して知ることと、実験レポートの書き方を知ることでした。したがって、実験を失敗してもいい、むしろ失敗しながら覚えていけばいいと言っていました。一方、自分で実験テキストを読んで実験手順を理解することと、自分の目で結果を観察して確かめることを求めました。入学して初めての実験授業ですから、実験操作もレポートの書き方も苦労したと思っています。しかし、授業アンケートの自由記載の感想では、実験操作もレポートの書き方も理解が深まったというプラス評価が多かったのがうれしかったです。少しでも実験の知識や手法とレポートの書き方を理解できたのであれば、1年後期以降のほかの実験授業に役立つと思います。 なお、実験テキストの説明にわかりにくいところがあったとの意見があったので、実験テキストは引き続き改訂を続けていきます。 (山崎 壮)
臨床栄養学 b	高橋 加代子	臨床栄養学系の授業は、初めての言葉が多いので、予習復習が必須となります。大学生は高等教育を受講しているのので、授業の内容が理解できるように自学学習に励んでください。 アンケートの回答数が少なく、コメントの記入がないため、こちらからもコメントをしにくいですが、皆さんの生活に役立ったことを期待します。